

今週のお題：番号の対応表で作るグループ

今週のアルゴリズムの@masuipeoさんの問題に挑戦中！

設問



CodeIQ感謝祭では、各参加者には申し込んだ順番に申込番号が付与されていました。
ただし、座席は申し込んだ順番ではなく、会場に到着した順番に着席しました。
このとき、「着席した座席番号」と「申込番号」によってグループを作ります。

座席番号と申込番号が同じ場合、その人は単独でグループになります。
異なる場合、申込番号に対応する座席番号に座っている人を順に辿り、辿れる人でグループを作ります。

例えば、6人が以下のような座席番号と申込番号だったとします。

座席番号	申込番号
1	2
2	4
3	3
4	1
5	6
6	5

このとき、「1, 2, 4」「3」「5, 6」の3つのグループに分けられます。

3人の場合、座席番号と申込番号の対応は全部で以下の6通りが考えられますので、
作られるグループ数の期待値は $(3+2+2+1+1+2) / 6 = 1.8333\dots$ です。

座席番号	申込番号	座席番号	申込番号	座席番号	申込番号	座席番号	申込番号	座席番号	申込番号	座席番号	申込番号
1	1	1	1	1	2	1	2	1	3	1	3
2	2	2	3	2	1	2	3	2	1	2	2
3	3	3	2	3	3	3	1	3	2	3	1
グループ：3個		グループ：2個		グループ：2個		グループ：1個		グループ：1個		グループ：2個	

標準入力からグループの数 n が与えられたとき、
作られるグループの数の期待値が n を超えるような最小の参加人数 m を求め、その人数 m を標準出力に出力してください。
なお、 n は6以下の整数とします。
また、キャンセルした人は考えないため、座席番号と申込番号はともに1～ m が一つずつ付与されます。

【入出力サンプル】

標準入力

2

【解答方法】

■挑戦言語は下記のプログラム言語選択で選択可能なものであれば何でもOKです！

- 1)自分の書いたプログラム言語を選択
- 2)解答欄にソースコードを記入
- 3)送信前に「提出前に確認」ボタンをクリック（構文エラーがないかどうかチェックできます）
- 4)「解答コードは正常に実行されました」というメッセージを確認の上、「解答を送信」ボタンで解答してください。

■この問題にはテストケースが5つ用意されています。すべてに通れば正解です！

【採点について】

- ・採点は「ideone」を使ってプログラムを実行し、標準入力および標準出力のテストケースと照合して正誤を判定します
- ・各言語の標準入力と標準出力は[こちら](#)を参考にしてください
- ・標準入力の最終行の改行はあり／なし両方に対応してください

※なおCodeIQで使用しているideoneは企業版のため、webで公開されているコンシューマー版[ideone](#)とは
対応言語・バージョン・挙動が異なる場合があります。
企業版ideoneの対応バージョンは、「提出前チェック」の結果とともに表示されます。

プログラム言語を選択してください

Bash


解答を入力して送信ボタンをクリックしてください


提出前に確認 >


解答を送信 >





ページ上部へ <

 公式Twitterアカウント

 リクルートグループサイトへ
CodeIQ

 CodeIQ MAGAZINE

 CodeIQ JOBS

 Read CodeIQ on RSS

(C) Recruit Career Co.,Ltd.

とは、自分の実力を知りたい
ITエンジニア向けの、実務ス
キル評価サービスです。

プレスリリース

CodeIQ

CodeIQ Magazine

CodeIQ JOBS

プライバシーポリシー

お問い合わせ

エンジニア採用ご担当者様へ

CODE VS

サンカク

カクシン

リクナビNEXT

リクナビNEXT ITキャリア

リクナビNEXT Tech総研